

Q30

盲・ろう・養護学校の センター的機能とは？

まずは
ここから



- ・専門性の高い教育相談の担当者等が対応します。
- ・諸検査の実施や研修会の講師も可能です。

盲・ろう・養護学校の自律教育のセンター的機能を紹介します。

自律教育コーディネーターの役割

盲・ろう・養護学校の自律教育コーディネーターは，小・中学校の自律教育コーディネーター以上の役割を果たしています。

小・中学校の自律教育コーディネーターと共通する役割

- (1) 盲・ろう・養護学校内の関係者や校外の関係機関との連絡調整
- (2) 保護者に対する学校の窓口

盲・ろう・養護学校の自律教育コーディネーターに付加される役割

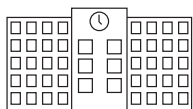
- (3) 地域内の小・中学校等への支援
- (4) 地域の医療・福祉・労働等の関係機関との連携

* 学校によっては，上記の役割を別の教員が担当している場合があります。



盲・ろう・養護学校における教育相談

盲・ろう・養護学校では，教育相談に対応する準備があります。



小・中学校

学級担任等は，自校の自律教育コーディネーターあるいは教頭等に相談し，必要に応じて，盲・ろう養護学校の担当者と連絡を取り合うようにします。



盲・ろう・
養護学校

相談窓口となっている教頭か教育相談担当者，自律教育コーディネーターが相談内容をお聞きします。

〈A養護学校の教育相談案内から〉 教育相談のご案内

障害のあるお子さんの子育て，発達，教育などについてお悩みの方，相談室の相談係が教育相談を行っています。お気軽にご相談ください。

■ 相談の方法は

まずは，電話をしてください。
「相談室をお願いします」で，相談係につながります。

相談の内容によりまして，

- 電話での相談
- 来校していただいた際の相談
- 保育所，幼稚園，学校などへ訪問しての相談を行います。

* 秘密は厳守いたします。すべて無料です。
悩んでいたら，困っていたら，お電話ください。



盲・ろう・養護学校が提供可能な支援内容

盲・ろう・養護学校が、地域の小・中学校、幼稚園、保育所等に、提供可能な支援の内容は、次のようなものです。

1 様々な教育相談

就学相談

盲・ろう・養護学校への転入学に関する相談ができます。盲学校では中途失明者、通級による指導に関する相談もできます。

障害のある子どもの教育や療育に関する相談

盲・ろう・養護学校への転入学を前提としていない内容についても相談できます。小・中学校等における指導方法や基本的な配慮点を教員等に示すほか、保護者との面談や本人の様子を見ながらの助言も可能です。学校公開日に、教育相談担当教員が校内案内や相談する機会をもつ学校もあります。障害にかかわるあらゆる相談が可能です。

不登校や集団不適応等の相談

LD等を遠因とする不登校の場合、指導方法等を助言することも可能です。

発達検査の紹介や実施

WISC-Ⅲ等の諸検査の実施、結果の説明等を行います。ろう学校では聴力検査なども実施します。

進路・就労に関する相談

高校卒業後を中心とした進路の選択肢や相談先を示すことが可能です。

2 研修会の実施と協力

盲・ろう・養護学校で行う研修会に、幼稚園、保育所、小・中学校等の参加を呼び掛けています。講師の紹介もします。

- ・相談担当教員が出向いて「軽度発達障害の理解」等の研修を行った養護学校もあります。
- ・「視覚障害者のためのパソコン教室」や「点字入門講座」等の研修を行った盲学校があります。

3 巡回訪問による指導

子どもを観察し、理解を深める方法や支援の在り方等、障害に応じた指導に関する相談を行います。専門的な指導法を知ることできます。

- ・通常の学校に就学している視覚障害児生に、点字、歩行等の通級指導を行う盲学校があります。
- ・補聴器の調整、相談、発音指導等を行うろう学校があります。

4 検査器具、教材教具等の貸し出し、授業協力

点字盤、白杖、補聴器、箱庭療法の用具等の貸し出しを行う学校があります。総合的な学習の時間への協力をしている学校もあります。

5 研究授業の公開

地域の小・中学校や関係諸機関に呼び掛けて、研究を深めている学校が多数あります。

6 学校施設・設備を開放

親子学習会、各種同好会等に開放します。教育活動とは別目的でも、内容によって学校施設を提供できます。



【キーポイント】 盲・ろう・養護学校は、地域の自律教育のセンター的な役割を果たすため、学校体制を整えていますので、専門的な視点からの助言を受けることができます。連携マップに入れておくと役に立ちます。